「橋梁架設工事の積算 令和6年度版」正誤表

頁	訂正箇所		誤	正
P4-12		表 4 一 2 -	- 4	表4-2-4 損料及び歩掛係数①
		足場の種類	S N 備考	足場の種類 S N 備 考
		タイプ A1 吊足場(桁高h<1.5)	425 0.130 朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上	タイプ A1 吊足場 (桁高h<1.5) 425 0.130 朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上
	4.2.1	タイプ A2 吊足場(桁高h≥1.5)(中段足場含む)	565 0.153 朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上	タイプ A2 吊足場(桁高h≥1.5)(中段足場含む) 565 0.153 朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上
		タイプ A3 吊足場(足場上で部材移動のある場合)	530 0.130 朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上	タイプ A3 吊足場(足場上で部材移動のある場合) 485 0.130 朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上
	鋼橋補修用足 場工	タイプ A4 吊足場 (足場上で部材移動のある場合) (中段足場含む)	670 0.153 朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上	タイプ A4 吊足場(足場上で部材移動のある場合) (中段足場合む) 625 0.153 朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上
	損料係数	床面シート張防護設置時	79 0.007 タイプ A1、A2、A3、A4に対応	床面シート張防護設置時 79 0.007 タイプ A1、A2、A3、A4に対応
		朝顔	50 0.022 防護工は別途計上、片側の場合は1/2とする	朝顔 50 0.022 防護工は別途計上、片側の場合は1/2とする
	表4-2-4	タイプ B 板張防護工	110 0.018 上記足場に加算 (タイプ Bに対応)	タイプ B 板張防護工 110 0.018 上記足場に加算 (タイプ Bに対応)
		シート張防護工	42 0.004 上記足場に加算 (タイプ Bに対応)	シート張防護工 42 0.004 上記足場に加算 (タイプ Bに対応)
		タイプ C 中段足場	140 0.023	タイプ C 中段足場 140 0.023
		タイプ D 中段足場(殻受)	350 0.072 防護工含む	タイプ D 中段足場 (微受) 350 0.072 防護工含む
		名 称 規格	号表 エレベータ組立解体費単価表 (1回当り) 単 位 数 量 単 価 金 額 摘 要	②エレベーター組立・解体費単価表 単価 3 -40-2号表 エレベータ組立解体費単価表 (1回当り) 名 称 規 格 単 位 数 量 単 価 金 額 摘 要
		架 設 工 具	日 1×組立解体日数	架 設 工 具 目 1 ×組立解体日数
	3. 6. 8	と び 工 溶 接 工	人 6×組立解体日数 ″ 1×組立解体日数	と び 工 人 6×組立解体日数
P3-174	Dの接 単柱ナ	電工	7 1 ~ 图立解译日数 9 0.3×組立解体日数	溶 接 工 " 1 ×組立解体日数 電 工 " 0.3×組立解体日数
	PC橋片持ち 架設工	ラフテレーンクレーン賃料 排出ガス対策型(第1次表 油圧伸縮ジブ型 45t吊		ラフテレーンクレーン賃料 排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 45tR 台・日 1 ×組立解体日数
		計		計
		 (注) 1. 工事用エレベーターの組立解体日数は下式によ組立解体日数=0.15×H+3 ここで、H:エレベーター高さ(m) 2. 架設工具は第5章 橋梁架設用仮設備機械等指 		 (注) 1. 工事用エレベーターの組立解体日数は下式により算出する。 組立解体日数=0.15×H+3 ここで、H:エレベーター高さ (m) 2. 架設工具は第5章 橋梁架設用仮設備機械等損料表 架設工具 10,300円/日とする。